

平成 25 年度 図書館モデル公開授業 研究実践校
札幌市立西岡小学校 第 5 学年の実践

秋は深し ～秋らしい俳句をつくろう！～

学習のねらい

- ・ 秋らしい言葉や、物事について書かれている本を探し出したり、調べたりすることができる。
- ・ 調べた事柄を基にして、季節を表す言葉に関心をもったり、俳句にして表現したりすることができる。

主な学習活動



- ・ はじめに、季節を表す言葉を「行事」、「食べ物」、「ことわざ」といった分野で考えることで、季節を表す言葉の多さを知ったり、友達の意見を聞くことで知識を広めたり、興味をもつことができた。これらをもとに、俳句を創作し、「自分の作った俳句がもっと『季語』を生かす俳句になるようにしよう！」という目標をもつことで、中央図書館での「『秋』に関する本さがし」への意欲につながった。
- ・ 中央図書館では、4年生で訪れた西岡図書館での図書利用体験や、学校の図書館での書架配置といった既習を生かし、自分が調べたいと思った言葉や事柄についての本を、検索機を使わずに、自分達でスムーズに調べることができた。中央図書館の児童書の配置が、イラストを加えた非常にわかりやすいものであったことが、印象的であったようだった。
- ・ 子ども達は、自分が当初創作した俳句に用いた『季語』をより「秋らしく」するために、調べた事柄から、色や様子を表現する言葉などを選んで創作することができた。
- ・ 事後学習として、子ども達は自分が創作した「秋」の俳句を清書し、校内に展示し、お互いに鑑賞し「秋」という季節を表現する言葉の良さを深めることができた。

授業の成果と課題

本校は、西岡図書館と札幌大学が近在であることから、生活科、社会科、総合的な学習等で図書館利用を取り入れている。こうした経験を積み上げていることで、中央図書館で、子どもたちは必要な本を自分で探す力が発揮できた。また、全員が自分の図書貸出券を持っていることで、「中央図書館にしかない本を借りることができた。」という、新しい本との出会いに喜ぶ姿も見られたことが大きな成果だった。朝読書、ボランティアの方による読み聞かせなど、図書に親しむ環境づくりの土台の上に、こうした校外学習の体験があることは、読書体験をさらに広げるすばらしい試みであった。